

第21回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

埼玉県母性衛生学会
<http://sbe.umin.jp/>

§ 日 時 平成16年11月19日(金)午後1時30分から

§ 場 所 埼玉県県民健康センター2F大ホール
さいたま市浦和区仲町3-5-1 電話048-824-4801

司 会 古 谷 健 一 幹事

1. 学会長挨拶(13:30) 埼玉県母性衛生学会会長 竹 田 省

2. 一般演題(13:32~16:06)

助産師業務・助産師教育(13:32~13:53)

座長 小田切房子(埼玉県立大学短期大学部)

1) 開業助産師の現状調査についての一考察

(社)日本助産師会埼玉県支部助産所部会

阿部淳子、飯島さち子、関根はつみ、櫻井裕子、中島桂子

2) 埼玉県における助産師のあり方に関する基礎的研究 - 県内医療機関における
助産師の需要と期待する業務内容の調査 -

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科¹⁾、東京大学大学院医学系研究科²⁾、
埼玉県立大学短期大学部助産学専攻³⁾

今井充子¹⁾、渡部尚子¹⁾、鈴木幸子¹⁾、村山陵子²⁾、小田切房子³⁾、
行田智子³⁾

3) 助産師学生の妊婦健康診査の演習と実習の技術評価 - 「問診」「全身の観察」
「レオポルド触診法」「胎児心拍数の聴取」「腹囲・子宮底測定」 -

埼玉医科大学短期大学専攻科母子看護学専攻

羽根田公江、檜原洋子、山崎トヨ

母性意識（ 1 3 : 5 3 ~ 1 4 : 2 1 ）

座長 田 島 恵 子（深谷赤十字病院）

4) 分娩台で入る「母性」のスイッチ

中島産婦人科

中村純子、中島 洋

5) 多胎妊婦への看護者の関わり - 児への思いに焦点をあてて -

さいたま市立病院

東野真弓、斉藤亮子

6) 赤ちゃんに優しい病院（ B F H ）認定に向けて - スタッフの母乳育児に対する意識調査 -

越谷市立病院産婦人科

廣瀬尚美

7) 産科病棟における高校生体験学習の意義性について

川口市立医療センター産科病棟（ 3 B 病棟）

斎藤有香、河野一美、栗原夕里子、田中友江、栃木武一

妊産婦と看護（ 1 4 : 2 1 ~ 1 4 : 5 6 ）

座長 上 村 志 津 子（防衛医科大学校病院）

8) 近年妊婦のウイルス抗体保有率

愛和病院産婦人科外来

津田美恵子、小澤真由美、関原真紀、糸川好男、上里忠司、藤田壽太郎

9) さいたま赤十字病院におけるマタニティビクスの現状 - 導入から 3 年間を振り返って -

さいたま赤十字病院産科病棟

近藤尚子、内升千加、高橋 央、関根千江、佐藤由美子

10) 母体搬送された妊産婦の不安調査とその対応

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

松本瑞江、村山真理子、齋藤優子、森本美加、白石道子、松本幸子、
村山敬彦、齋藤正博、馬場一憲、竹田 省

- 11) 軟骨無形成症の母児発症の一症例 - 障害に視点をあてて -

川口工業総合病院産婦人科病棟

河島桂子、遠藤法子、桜場恵子、小島緒子

- 12) HIV陽性母と児の看護 - 当院での2症例を通して -

防衛医科大学校病院産科病棟

内藤久美子、小原直美、小谷野マミ、上村志津子、喜多恒和、松田秀雄

産褥・育児・思春期問題 (14:56 ~ 15:31)

座長 手島幸代 (獨協医科大学越谷病院)

- 13) 母児同室における疲労の原因について - 搾乳に焦点をあてて -

戸田中央産院

関根美穂子、野沢香奈、角崎美由紀、鷺谷由紀、山本英子、遠藤知実

- 14) マタニティブルー - 再入院を余儀なくされた2事例より -

獨協医科大学越谷病院産婦人科病棟

白根智子、里舘真理子、手島幸代、大藏健義

- 15) 予後不良児とその家族へのかかわり - 致死性骨異型成症児の看護を振り返って -

防衛医科大学校病院

内藤章子、熊谷美津江、高橋明美、松本陽子、上村志津子

- 16) 母親への視線をはずす乳児についての考察 - 3か月健診での事例を通して -

こうめまクリニック¹⁾、木野産婦人科医院²⁾、小原クリニック³⁾、
慈恵医大柏病院⁴⁾

鈴木仁史¹⁾、嵯峨芳子^{1) 2)}、相原由香^{2) 3)}、古川はるこ⁴⁾、木野秀郷²⁾

- 17) 地域で支えるリプロダクティブヘルスに関する研究 - 第1報：越谷市男女共同参画支援センター（ほっと越谷）からだ性と性の相談の現状報告 -

埼玉県立大学短期大学部¹⁾、埼玉県立大学²⁾

高田恵子¹⁾、渡部尚子²⁾、鈴木幸子²⁾、今井充子²⁾、兼宗美幸¹⁾、
坂本めぐみ¹⁾、小田切房子¹⁾、及川裕子¹⁾

少子化問題（１５：３１～１６：０６）

座長 渡 部 尚 子（埼玉県立大学）

18) 少子化がもたらす子どもたちへの影響 - 心身の成長と発達 -

埼玉大学教育学部附属幼稚園

佐藤大子

19) 少子化とこどもたち - 小学校における変化と対応 -

加須市立加須小学校

栗原静代

20) 少子化と子どもや保護者の変化と対応

両神村立両神中学校

中田宮子

21) 今どきの中学生 - 少子化にともなう子供や保護者の変化と対応 -

さいたま市立大原中学校

大内葉子

22) 少子化の中の高校生

川口市立県陽高等学校

本吉和貴子

3. 総 会（１６：０６～１６：１６）

1) 埼玉県母性衛生学会役員について

小 林 浩 一 幹事

2) 平成１５年度埼玉県母性衛生学会収支決算について

小 林 浩 一 幹事

3) 監査報告

佐 藤 辰 之 監事

4) 平成１６年度埼玉県母性衛生学会収支予算（案）について

小 林 浩 一 幹事

5) 埼玉県産婦人科医会会長挨拶

柏 崎 研 様

4 . シンポジウム (1 6 : 1 6 ~ 1 8 : 1 6)

メインテーマ「少子化対策と不妊治療 - 問題点と支援 - 」

座長 石 原 理 (埼玉医科大学病院)

座長 山 田 祐 士 (かしわざき産婦人科)

- 1) 埼玉県不妊治療助成事業
埼玉県健康福祉部こども家庭課
課長 岩 井 一 郎
- 2) 不妊相談事業と不妊治療の現況
埼玉医科大学総合医療センター
産婦人科講師 林 直 樹
- 3) 不妊治療での心のケア
日本不妊カウンセリングカウンセラー
永井クリニック看護副師長 山 崎 照 美
- 4) 産科の立場から - egg donation、多胎管理の問題 -
川口市立医療センター
産婦人科部長 栃 木 武 一
- 5) 多胎家族への育児支援、地域支援
さいたま市立病院
周産期センター師長 永 澤 規 子
- 6) 小児科医の立場から - 不妊治療、未熟児と虐待 -
埼玉県立小児医療センター
未熟児新生児科副部長 鬼 本 博 文

5 . 閉 会

菊 池 義 公 副会長

一般演題の講演時間は1 題につき発表 5 分、討論 2 分です（時間厳守のこと）。
スライドプロジェクター、液晶プロジェクター及びパソコンを各 1 台ご用意いたしますが、ご使用いただく機材はスライド又はパソコンといたします。
一般演題のスライドは 1 題につき 10 枚以内（1 面映写）をお願いいたします。
産婦人科医師には、日本産科婦人科学会研修受講 10 単位シール及び日本産婦人科医会研修受講シールを発行します。
学会会員は、参加費及び年会費として、合計 2,000 円を当日頂戴します。
学会会員以外の方は、学会参加費として、1,000 円を当日頂戴します。